



令和8年度9月補正予算の概要

福岡県



令和8年度9月補正予算のポイント

予算編成の考え方

「安全・安心の確保」に取り組むとともに、「次代を担う『人財』の育成」及び「地域活性化」に必要な経費を計上

補正予算の規模

(単位：百万円)

区 分	当初予算 A	現計予算 B	9月補正予算 C	9月補正後 予算 D = B + C
一 般 会 計	2,300,027	2,302,607	8,698	2,311,305
特 別 会 計	1,017,912	1,017,912	0	1,017,912
計	3,317,939	3,320,519	8,698	3,329,217

主要内容

(単位：百万円)

項 目	予算額	財 源 内 訳			
		特 定 財 源			一般財源
		国庫	県債	その他	
○ 安全・安心の確保	1,918	724	754	150	290
○ 次代を担う「人財」の育成	6,753	6,480	0	273	0
○ 地域活性化	27	0	8	1	18
合 計	8,698	7,204	762	424	307

※表示単位未満四捨五入の関係で、積上げと合計が一致しない箇所がある。

繰越金



安全・安心の確保

○ 道路の安全を確保 8億501万円

- ・ 道路の舗装や橋りょうの補修を実施

[主な実施内容]

柳川城島線（柳川市）の舗装補修工事

佐賀大川線（大川市）の橋りょう補修工事



<橋りょうの補修>

○ 港湾の老朽化対策等を実施 9億193万円

- ・ 港湾の航路浚渫や岸壁補修等を実施
- ・ ダム設備の改良や海岸の堤防整備を実施

[主な実施内容]

苅田港（苅田町）の航路浚渫・岸壁補修工事

南畑ダム（那珂川市）の管理用制御処理設備改良工事

志賀島海岸（福岡市）の堤防整備工事



<港湾の浚渫>

○ 県有施設を改修 2億1,118万円

- ・ クローバープラザの屋外通路改修中に判明した内部構造に応じた追加工事等を実施



次代を担う「人財」の育成

○ 公立高等学校等教育改革促進基金への積立 64億8,000万円

- ・ 高校教育改革を先導する拠点校の創出（R8～10）に必要な財源を基金に積立

【八女農業高校】 スマート技術で進化する、未来の農業を創る教育拠点 17億円

- ・ 農業の基本的な知識・技術に加え、スマート農業等に必要な先端技術を活用した実践的な教育環境を整備し、地域農業を支える次世代人材を育成

【小倉工業高校】 地域産業と学びをつなぐ、次世代工業教育拠点 19億5,000万円

- ・ ものづくり技術とデジタル技術を高度に融合させた、多様な産業現場を牽引できるハイブリッド技術者を育成

【宗像高校】 幅広い視野と理数的素養を育む、知の探究の拠点 17億7,000万円

- ・ 最先端のDX環境で大学や企業、海外の高校等との連携を通して、グローバルな視点から文理の境界を越えた探究的な学びを展開し、理数系人材を育成

【博多青松高校】 多様な学びを支える県立学校のネットワーク拠点 10億6,000万円

- ・ I C Tのさらなる活用による通信教育の質的高度化を図り、定時制・通信制高校の中核拠点として、不登校を経験した生徒をはじめとする多様な生徒に対する「質の高い学び」を提供

○ 高校教育改革を先導する拠点校を創出 2億7,294万円 [債務負担行為:1億7,394万円]

[八女農業高校]

- ・ スマート農業に対応した製茶・抹茶工場の増築等に係る設計を実施
- ・ 自走式草刈機やドローン等のスマート農業機械を導入



＜製茶・抹茶工場＞

[小倉工業高校]

- ・ アドバンスセンターの新築及び機械科実習棟の内部改造に係る設計を実施
- ・ 先端デジタル技術の指導力向上のための教員研修を企業と連携して実施

＜アドバンスセンター＞

産業用ロボットなどの大型機械、スタジオ、コミュニケーションエリアなどを備え、
学校横断的な学びを実現する最先端施設



＜アドバンスセンター＞

[宗像高校]

- ・ 大学、企業等との連携による探究的な学びのプログラムを開発
- ・ 学習環境高度化に向けたデジタルホワイトボード整備に係る設計を実施



＜デジタルホワイトボード＞

[博多青松高校]

- ・ 全定時制（単位制）高校の生徒が同時に受講できる遠隔授業空間を整備
- ・ 多様な学びに対応したパソコン実習室や個別指導室等の整備に係る設計を実施



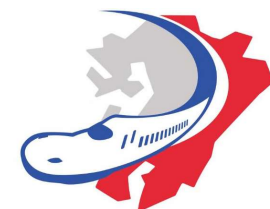
＜遠隔授業スタジオ＞



地域活性化

○ 東九州新幹線の整備計画路線への格上げに向けた調査を実施 836万円

- ・ 国の「基本計画路線に係るケーススタディ」に参画し、輸送需要等を調査
- ・ 北九州空港など地域資源の活用を含めた新幹線整備が、沿線地域に与える効果を調査



東九州新幹線

○ 「福岡県プレミアム・ステージ」を開催 95万円 [債務負担行為:2,384万円]

- ・ 県民の誰もが最高峰の芸術に触れられる機会を提供するため、サン・カルロ歌劇場のオペラ「アイーダ」を開催し、こどもの無料招待や県民価格販売（半額）を実施

[日程] 令和9年7月頃（予定） [会場] アクロス福岡



<オペラ公演のイメージ>

○ 大濠公園能楽堂の利便性を向上 1,066万円 [債務負担行為:5,013万円]

- ・ 女性用トイレの増築にあたり、和装客が利用しやすい広さの個室を整備
- ・ カフェ開設に向け、専用トイレ等の設備整備及びスロープ等の周辺外構工事を実施

○ 2つの国際大会を契機としてスポーツ・地域を振興 676万円

- ・ スポーツへの関心を高め、ファンと競技者を増やすため、大会に小学生を無料で招待
- ・ 国内外からの来場者等に本県の食や観光の魅力を発信

大会名	開催日程	場所	開催に係る 県負担金 ※
WCクライミンググランドフィナーレ福岡2026（仮称）	R8.11.5～8	飯塚市	1.5億円
WDSFブレイキンワールドシリーズ2027久留米	R9.1.15～17	久留米市	0.7億円

※福岡県スポーツ推進基金から拠出



<IFSC クライミンググランドファイナルズ福岡 2025>



<WDSF 世界ブレイキン選手権 2025 久留米>